

ダイヤ  
コー

# 鉄道輸送サービス提案

## 東夕隣接の強み生かす

ダイヤコーポレーション（曾根和光社長、東京都品川区）は、日本貨物鉄道（JR貨物）の東京貨物ターミナル駅隣接地に設けた品川営業所（同区）を活用して、

新たな物流サービスを展開していく方針だ。JR貨物が運営する荷さばき・保管・流通加工など総合的な物流機能を持つ大規模複合施設「エフ・プラザ」に入居

JR貨物は8日、エフ・

プラザ東京C2棟の竣工式を開催。来賓として出席した曾根社長が記者団の取材に応じ、明らかにした。

曾根氏は「陸海空の結節点となる品川営業所は、物流拠点としての優位性が高い。こうした強みを生かし、顧客の物流費削減につながるようなサービスを提案していきたい」と話した。

具体的には、品川営業所を起点に物流サービスを展開。24時間操業できるため、他の倉庫から緊急性の高い貨物を移管させることなど、拠点編成を検討する。更に、JR貨物と連携し、鉄道を利用した輸送サービスを提案。流通加工を手掛けるとともに、精密部品の調達・納品など多様な物流の受け皿として、新拠点を活用する。（山上隼人）



「物流費削減につながるサービスを提案していきたい」と曾根社長